

第2回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）閣僚会合 共同声明（仮訳）

ジャカルタ、2024年8月21日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ及びベトナムの大臣は、2024年8月21日、インドネシアのジャカルタで、インドネシアのエネルギー・鉱物資源省と日本の経済産業省が共同議長を務める第2回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）閣僚会合を開催した。

AZEC原則の再確認

我々は、アラブ首長国連邦（UAE）で開催された国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）でのコンセンサスを歓迎し、グローバル・ストックテイク（GST）に関するパリ協定第5回締約国会合（CMA.5）の決定に沿った努力を加速することにコミットしている。我々は、1.5°Cの道筋に整合する形で、温室効果ガスの排出量を大幅に、迅速かつ持続的に削減することが緊急に必要なことを認識する。この文脈において、我々は、「AZEC原則」の意義を強調し、気候変動対策、包摂的な経済成長の促進、エネルギー安全保障の確保を同時に実現するという「トリプル・ブレークスルー」達成の重要性を強調する。我々はまた、「一つの目標、多様な道筋」という概念を尊重し、地理的、経済的、技術的、制度的、社会的、公平性などの要因を含むがこれらに限定されない、各国固有の状況、既存の目標や政策、開発上の課題を考慮した上で、カーボンニュートラル／ネット・ゼロ排出に向けた多様かつ現実的な道筋が存在することを認識する。

我々は、2023年3月に東京で開催された第1回AZEC閣僚会合と、2023年12月に東京で開催されたAZEC首脳会合の成果を歓迎する。

我々は、上記の共通理解を行動指針として共有しながら、長年培ってきた相互の信頼の上に成立するAZEC構想を通じて協力を推進する。我々は、2023年12月のAZEC首脳共同声明において、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）に対し、ERIA内にアジア・ゼロエミッションセンターを設立し、情報を共有し、政策やプロジェクトに関する調査を実施し、AZECパートナー国におけるエネルギー移行の促進及び脱炭素化に向けたビジョン、ロードマップ又は政策の策定を支援するためのプラットフォームと

するよう招請したことを想起し、本年 8 月のアジア・ゼロエミッションセンターの立上げを歓迎するとともに、本共同声明に添付された取決め事項（ToR）及び活動を支持する。

我々は、AZEC 構想における重要なステップとして、アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ（AETI）やアジア・グリーン成長パートナーシップ閣僚会合（AGGPM）を含む、アジアにおけるエネルギー移行を達成するためのイニシアティブを歓迎する。

世界の脱炭素化を後押しする AZEC パートナー国

我々は、世界的なエネルギー移行を加速させ、パリ協定及び各国の異なる事情、道筋、アプローチを考慮しつつ、各国毎に定められた方法で、再生可能エネルギーの発電容量を世界全体で 3 倍にすること、エネルギー効率改善率を世界平均で 2 倍にすること、ゼロ排出及び低排出技術を加速させること、エネルギーシステムにおける化石燃料から移行することを含む、世界的な取組に関する GST の共同コミットメントを遂行するという、AZEC パートナー国のコミットメントを認識する。

我々は、ネット・ゼロ排出への移行は、すべての国に経済的機会をもたらすものであること、長期的な温室効果ガスの低排出型の発展のための戦略に沿った、明確な国の移行計画とリンクした野心的な「国が決定する貢献（NDC）」は、投資の優先順位と機会を特定することに役立ち、ネット・ゼロへの移行を実現する官民資本を呼び込むことになることを認識する。

政策支援及び具体的プロジェクトにおける協力の推進

GST に関する CMA.5 決定に沿ったエネルギー移行に向けた取組を加速するため、我々は、本共同声明に添付された AZEC セクター別イニシアティブ、すなわち、ゼロエミッション電力を促進する AZEC イニシアティブ、持続可能な燃料市場を創出する AZEC イニシアティブ、次世代産業を構築する AZEC イニシアティブを歓迎する。我々は、AZEC パートナー国が、各国の異なる事情を考慮しつつ、これらのイニシアティブに関連する政策の立案における協調やプロジェクトの実施により、エネルギー移行の取組を進展させることを奨励する。我々は、これらのイニシアティブに基づき、資金、人材、技術協力へのアクセスを促進することを確認する。

AZEC パートナー国間のカーボンニュートラル／ネット・ゼロ排出に向けた、これらの共同の取組を支援し持続させるため、我々は、持続可能な方法でエネルギー移行を加速させるための資金調達へのアクセスと包摂的な投資を促進することにより、一体的な行動をとる。この観点から、我々は、エネルギー部門を含む経済全体の移行を達成するための金融手段としてのトランジション・ファイナンス及び金融メカニズムとしてのブレンデッド・ファイナンスの重要性を強調し、AZEC 構想を通じて、この側面における投資の拡大に取り組む。我々は、地域及び国別の脱炭素ロードマップの策定、民間主導のアジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループ（ATF SG）におけるアジアのトランジション・ファイナンス推進のための分野横断的な対話や CEFIA、官民双方の様々なイニシアティブを通じた統合的な取組を認識し、推進する。さらに、持続可能なファイナンスを加速させるべく、AZEC 構想を通じて、政策協調を後押しし、経済成長に寄与しつつ排出を削減するための統合的な取組を推進する。

さらに、排出削減を価値として評価する市場を構築するための取組を推進するとともに、様々な政策手段の中でも、適切な形なら、排出削減のみならず、アジアや世界全体の経済成長を促進する上でも効果的となりうるカーボンプライシングに関する知見や既存事例の共有など、AZEC パートナー国間の協力をさらに促進するための取組を推進する。

加えて、我々は、サプライチェーン全体にわたる排出量の管理と、認知された排出量測定方法を用いることの重要性を認識する。また、我々は、最近開催された二国間クレジット制度（JCM）の促進と炭素市場の開発に関する AZEC 国際会合を通じて、質の高い炭素市場及びクレジット制度の推進と実施に向けた協力が進展したことを歓迎する。また、我々は、ネット・ゼロ排出に向けた炭素市場の野心的な利用を加速するため、GHG 排出削減を促進する関連イニシアティブや関連セクターを取り込むことを含め、一部の AZEC パートナー国がこの点で協力していることを歓迎する。

我々は、AZEC パートナー国がそれぞれ行うネット・ゼロ排出への移行を支援するべく、政策、資金、人材、技術の分野での可能な協力と強靱性を推進する。これには、再生可能エネルギー、省エネルギー、バイオ燃料、持続可能な航空燃料（SAF）、水素並びにアンモニア、イーフェュエル、イーメタンなどのその派生物、二酸化炭素の回収・利用・貯留（CCUS）／カーボン・リサイクルを含む、クリーン及び低炭素なエネルギー技術の展開と

普及を加速するための支援が含まれる。この文脈において、我々は、各国の事情により、パリ協定の目標を達成するための幅広い取組の一つとして、天然ガスや LNG がトランジション燃料として果たす重要な役割を認識する。我々は、いくつかの AZEC パートナー国は、各国のエネルギーミックスの多様化、既存の原子力の科学技術、産業またはプログラムの存在、各国の再生可能エネルギー資源のポテンシャルの制約等の各国の事情により、原子力エネルギーの安全及び平和的利用の協力を選択しうることを認識する。AZEC パートナー国は、スマートシティの開発を支援するための知識共有や政策対話、エネルギー効率の高い建物や産業を目指した建築物や産業機器の改修促進支援でも協力し得る。また、我々は、グリーン製造や二酸化炭素除去 (CDR) /CCUS/カーボン・リサイクルなどの分野での測定法の開発に取り組む。かかる開発は、これら分野での市場拡大や共同プロジェクトの推進に貢献する。さらに、廃棄物発電を含む、廃棄物からの持続可能なエネルギー生産を推進する。我々は、インフラの開発やゼロ及び低排出車両の迅速な普及を含め、多様な道筋を通じた道路交通からの排出削減を加速する。

着実な実施を促進するため、我々は、アジア・ゼロエミッションセンターに対し、次回の AZEC 閣僚会合において、セクター別イニシアティブ、経済成長を後押ししつつ排出削減を達成するための政策の選択肢、トランジション/グリーン・ファイナンス、質の高い炭素市場スキームなど、上記の研究及び地域協力の進捗状況について報告し、クリーンエネルギーのプロジェクトの進捗を評価し、共通な課題を特定することを求める。

我々は、ASEAN ビジネス諮問評議会 (BAC)、日本経済団体連合会、ERIA が主導する AZEC アドボカシー・グループによる提言を歓迎し、官民パートナーシップの強化を引き続き推進していく。

さらに、我々は、Singapore International Energy Week、マレーシアでの Energy Asia、Indonesia EBTKE ConEx、Indonesia Energy Efficiency and Conservation Conference & Exhibition、Indonesia International Geothermal Convention and Exhibition、タイでの Sustainable Energy Technology Asia などのイベントを通じて、AZEC の原則と行動を公衆や関係者に発信し、政府・民間部門の取組をさらに後押しするために協働する。

ベトナムでの AZEC/Green Transformation (GX)推進ワーキングチーム、インドネシアにおける AZEC Japan-Indonesia Joint Task Force、フィリピンにおける AZEC Japan-Philippines High-Level Coordination Dialogue、タイのエネルギー移行の目標達成に向けたエネルギー省(MOEN)と経済産業省(METI)の協力に関するワーキンググループなどの二国間イニシアティブが、日本の政府または民間セクターとのプロジェクトを推進するため有用な枠組みであることを認識し、我々は、エネルギー移行に向けた具体的な手段を取るため、二国間イニシアティブの下でプロジェクトを推進し、プロジェクトの進捗状況を監視するとともに、健全で予見可能なビジネス環境及び融資可能なプロジェクトを確保しつつ、発生した問題やボトルネックに対する支援等を行う。また、日本のグローバルサウス未来志向型共創等事業のような、一部の AZEC パートナー国によって支援されているエネルギー移行を促進する具体的な実証プロジェクトの進展を歓迎する。

AZEC パートナーを超えた協力の醸成

我々は、アジア地域のエネルギー移行とエネルギー安全保障を支援することを望む、アジア内外の全ての国々との協力を歓迎する。我々は、さらに、エネルギー移行において協力することや、相互に有益なクリーンエネルギー取引市場及び、特に ASEAN パワーグリッドを通じて、多様で強靱なサプライチェーンを将来確立することを視野に、既存の二国間枠組みの活用を含めて各国に働きかけることの重要性を認識する。また、ERIA のアジア・ゼロエミッションセンターなどを通じた、ASEAN エネルギーセンター (ACE)、ASEAN 気候変動センター (ACCC)、国際エネルギー機関 (IEA) などの関連する国際機関や組織との協力も歓迎し、さらに期待する。

今後について

第 2 回 AZEC 閣僚会合の共催国であるインドネシアに対し、また、次回の AZEC 閣僚会合の共催国であるマレーシアに対し、心から感謝の意を表す。